

次世代の国産ワクチンをつくる。

世界の片隅で発生した感染症が短期間で世界中に広がる。

グローバル化は、感染症の拡がりも加速させた。

製薬において「安全」は、もちろん最優先。

その上で、これからのワクチン開発に求められるのは、

感染症拡大に負けない「スピード」であると私たちは考えます。

世界では、新型コロナウイルスだけでなく、

エムボックス(サル痘)やデング熱など感染症の脅威は続いている。

さらに気候変動などの影響で、

未知の感染症が発生するリスクも指摘されている。

コロナ禍において日本はワクチン開発で他国に遅れを取り、

海外のワクチンに頼らざるを得ませんでした。

次の感染症流行への備えとして。

国内で必要な時に必要なワクチンを開発し、生産できる体制を

私たちMeiji Seika ファルマは目指します。

未来まで守れ。